



図書館だより

四十万小学校図書館 令和6年10月号

あき 秋です。本をよむのによい季節になりましたね。今月は、本屋さんや、本がたくさん出てくる本をしょうかいします。どれも図書館にあるので、ぜひ、読んでみてください！

読書スタンプカード



図書館のろうかにある【国語の教科書にでてくる本】コーナーの本をたくさん読んで、スタンプをためよう！すてきなプレゼントがもらえます。

〈1・2ねんせいにおすすめのほん〉



くろねこのほんやさん

(シンディ・ウーム 文・絵)

ほんがだいすきなくろねこは、ほんやさんのおてつだいを、たくさんのおきゃくさんに、ぴったりなほんをえらんであげました。あるひ、おおあめで、おきゃくさんがこれなくなりました。さあ、どうする？



じつはよるのほんだなは

(澤野秋文 作)

よるのほんだなで、いぬはりこのこたろうがみはりをしていましたが、いぬむりをしているあいだに、ほんのなかから、さしえのどうぶつたちがとびだして、おおさわぎになりました。もとにもどるのかな？

〈3・4ねんせいにおすすめのほん〉



あめ 雨ふる本屋

(日向 理恵子 作)

ルウ子は、市立図書館のおくて、ドードー鳥のフルホンさんと、助手の舞々子さんがいる、ふしぎな【雨ふる本屋】を見つけます。フルホンさんにたのまれて、ほっぼり森へ【物語の種】がうまく育たない原因を調べに行くこととなりますが、どんなことが起きるのでしょうか？



あるかしら書店

(ヨシタケシンスケ 著)

あるかしら書店には、【本】についてのいろいろな本があります。「ちょっとめずらしい本」「本にまつわる道づ真」「本にまつわる仕事」など、本当にあつたら、手にとってみたい本がたくさん！ヨシタケシンスケさんの本がすきな人は、ぜひ、読んでみてください。

〈5・6ねんせいにおすすめのほん〉



モノ・ジョーンズとからくい本屋

(シルヴィア・ピショップ 作)

ちいさなまちの本屋のモノは、抽選で、モンゴメリーの世界一の本屋をゆずってもらえることとなりますが、エリオットというあやしい客がやって来て、追い出されてしまいます。モノと家族達は、本屋を取りもどすことができるのでしょうか？



ぎりぎりの本屋さん

(まはら三桃・菅野雪虫・濱野京子・工藤純子・廣嶋玲子 著)

5人の作家が、商店街のはずれの古い本屋に「ぎりぎり」の状況のお客さんがやって来て、店員の少年が、役に立つ本をすすめてくれる、というお話をリレー形式で書いた本です。この店員さんは、どうしてこの本屋で働いているのでしょうか？